

## 西南団地におけるアスパラの夏休み栽培歴（案）「前半」

取組初年度目標販売額「3,950千円」

反収3.4～3.5 t

アグリ技研（株）

	1～2月	3～4月	5～6月	7月
10a 目標収量（月）	300kg（2月/15kg/20日）	1,100kg（3・4月/20kg/60日）	1,000kg（5・6月/18kg/60日）	900kg（7月/30kg/30日）
平均単価（kg）	1,400～1,050円	1,150～1,450円	1,350～1,330円	1,100円
販売額	315～420千円	1,265～1,595千円	1,330～1,350千円	990千円
管理作業	・地上部の刈取準備・作業	・春芽収穫量に応じて追肥	・敵芯作業は立茎後30日程	・収量に応じた追肥
	・冬肥の施肥（別表）	・液肥等も臨機的に追肥	・摘芯後は早めの茎葉整理	・梅雨明け高温対策
	・保温前には十分な灌水	・日中温30℃前後までの管理	・立茎後本数は㎡に18～20本	・病虫害の防除
	・保温後は地温を18℃まで上げ 1日 萌芽を促す。	・十分な灌水を行う	・収穫量に応じて追肥	・光合成の活性
	・灌水は、晴天日を見て1～2 に行う。（十分な湿度保持）	・立茎は収穫開始後30日前後 「夏場前半で高収を確保する 為に勢いのある時期の立茎」	・梅雨入り前までに徹底防除	・乾燥期の灌水は 日に複数回行う。
	・ハウス温度は 日中25～30℃ 夜間6℃	・立茎と同時に防除	・梅雨に向けての排水対策	・ <b>下旬での収穫抑制</b>
	・春芽収穫量に応じて追肥 液肥も有効に使用する。	【ポイント】 ・立茎時期は、通常の場合より やや早めで萌芽の勢いのある時 期に行うことで、立茎後の収量 を維持させる、立茎規格等は通 常栽培と同等で行う。立茎後は 30日以内で成園とする。	・光合成活性に葉面散布	・ <b>水管理で調整</b>
	【ポイント】 ・地上部の刈取作業は、多年生株 の場合には、十分に黄化してから 実施する、保温時期は晴天日を考 慮して行い土壌温度を一気に上げ 萌芽を促す。		◎葉散布処理（6/下～7/上）  【ポイント】 ・立茎後も萌芽促進に十分な灌 水や追肥に茎葉の整理を早めに 実施する。本格的な梅雨入り前 に茎葉を硬く、光合成作用を発 揮できる環境を作り上げる。	「下旬までは、日に 数回の灌水、その後 15～20日置きの少量 灌水とする」  【ポイント】 ・下旬で灌水を控え て夏芽収穫量を抑制 する。